

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (6) タイバンコク東急百貨店への桃輸出支援について
農林中央金庫 福島支店（福島県）

新規	継続
○	(年 月)

1 動機(経緯)	<p>農林中央金庫 福島支店は、農林水産業者の所得向上や地域の活性化に向けた支援の一つとして、ビジネスマッチングの取組みを強化してきました。</p> <p>今回、輸出に興味があるA社と、輸出関連の各種事業を展開しているB株式会社の橋渡し役となり、タイのバンコク東急百貨店内で日本農産物の販売を行う「47 Fresh From JAPAN」への当社の桃輸出を実現しました。</p>
2 概要	<p>当社は、皇室へ桃を献上していることで有名な桑折町にて、桃の生産および販売を営む個人農家です。県内初のGLOBAL・GAPを取得し、東南アジア等への桃の輸出に取り組みたいとの考えを持っていましたが、具体的な販路を見いだせずにはいました。</p> <p>一方のB社は、現地の会社等と連携し、日本の農産物の輸出入手続きから、各種輸配送、タイでの現地販売までをトータルで提供する新たなサービスを開始しました。その販売拠点としてタイバンコク東急百貨店パラダイスパーク店内に「47 Fresh From JAPAN」という販売拠点を設置し（2018年1月）、そのブースで販売する農産物の確保が課題でした。そこで、金庫が両者の橋渡し役となることで、2018年7月から当社の桃がタイバンコク東急百貨店の店頭に並び、現地でも好評を博しました。</p>
3 成果(効果)	<p>当社代表は、GLOBAL・GAPの取得や輸出の取組みを通じて、福島県農産物の安心・安全性をアピールすることが、根強く残る風評被害払拭に向けて一つの有効な手段になると考えています。今回のビジネスマッチングにより、当社として初めて桃の輸出を実現し、当社代表の想いを後押しすることができました。</p>
4 今後の予定	<p>農林中央金庫 福島支店では、引き続きビジネスマッチングや輸出支援など、日本の農林水産業者の販路拡大等に繋がる支援を継続していく考えです。</p>

【「47 Fresh From JAPAN」の店頭の様子】



【店頭での試食品販売】

